

# リボンの会 会員の声



リボンの会のホームページ・トップ > リボンの会とは > 会員の声

## 10年前、CML患者に イニシャル A. S さん

以前「気力」と書かれた、プロ野球の王監督のサイン色紙を机の上に立てていた。

10年前、CML患者になった当初、グリベックを投与されたが、副作用が酷く、旧来のインターフェロン治療を受けることになった。毎晩、寝る前に注射を自分の身体に打つ、惨めさと痛みで泣きそうになった時「気力」と書かれた色紙を見て気持ちを奮い立たせていた。インターフェロンを始める時に医師から海外で次世代の新薬が開発されている、それまでなんとか頑張るように言われ3年半、毎日この色紙に励まされ注射を打ち続けた。

そんな中、「リボンの会」の講演会に参加し、苦しんでいるのは自分だけではないとわかり、同じ悩みを持っている人との交流ができ、心が救われた。「リボンの会」の会員になって、まもなく、幸運にも治験に参加でき、信頼できる医師、一スの治療を受け始めた、治験薬は身体にマッチして副作用も殆どなく、元気になり社会復帰ができ、旅行、スポーツを楽しめる身体になった。

王監督は弱小球団を優勝を重ねる常勝軍団に育てられ現役を引退された。「気力」と書かれた色紙は、今は机の上には置いていないが、時々、当時の暗黒の日々を思い出し、この「色紙」と「リボンの会」のおかげで今の元気な自分があると感謝している。

CMLは治療が進み死の病気ではなくなってきたが、最終ゴールは見えず、治療費は際限なくかかる、でも、過ぎたことを悔やんでも仕方がない、残された人生を明るく前向きに生きたい。

2015.4.11



## リボンの会 事務局本部

公式サイトURL: <http://ribonnokai.info/>

E-mail: <http://ribonnokai.info/mail.html>